

衝突軽減システム搭載 バックホウ

KOBELCO SK-200-10 + K-EYE PRO

AKT/O
アクトィオ

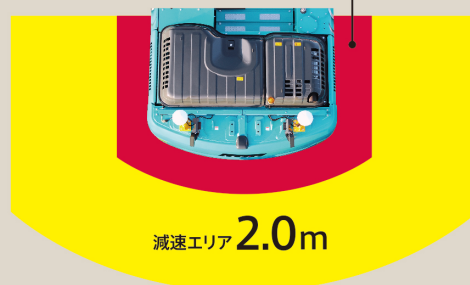


事故ゼロをめざして。 深度センサで衝突を軽減する バックホウ、登場。

KOBELCO SK-200-10に、KOBELCO衝突軽減システム K-EYE PROを搭載。
4つの深度センサが障害物を検知し、自動で減速・停止を行います。
オペレータの死角エリアをセンサでカバーすることによって、事故ゼロをめざします。

深度センサの検知エリア

停止エリア 0.5m 以内



減速エリア 2.0m

深度センサの検知例



減速エリアで検知した場合 ▶ 自動で減速



停止エリアで検知した場合 ▶ 自動で停止+アラーム



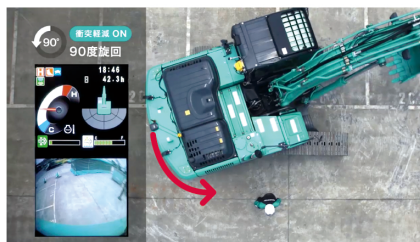
停止エリアで検知した場合、操作を続けても自動停止

減速エリア内で障害物を検知するとバックホウを自動で減速。停止エリア内まで障害物が入ったことを検知すると、バックホウを自動で停止させます。停止時にアラームでも警告します。操作をし続けた状態でも、停止エリア内に障害物が入ると自動で減速、停止させます。

回転時・走行時の危険をセンサが検知。 現場での事故を軽減・回避することができます。

90°回転時の作動例

減速エリア内で人を検知すると、自動で減速させます。

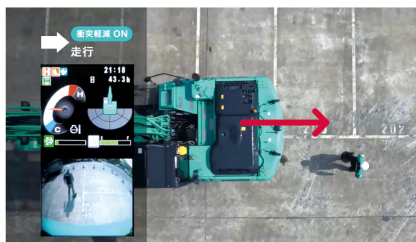


停止エリア内に人が入ると、自動で停止させます。

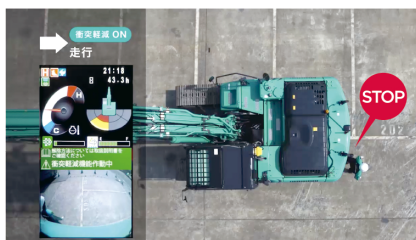


走行時の作動例 ① (人を検知)

減速エリア内で人を検知すると、自動で減速させます。



停止エリア内に人が入ると、自動で停止させます。

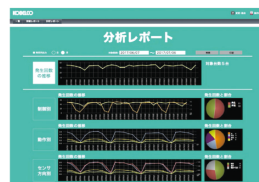


走行時の作動例 ② (モノも検知)

人はもちろん、モノも検知し、作動します。



自動レポート作成機能も搭載



専用ウェブ画面で、検知エリアや時間帯ごとのデータもレポートします。現場のヒヤリハットを可視化し、KY活動の資料としてご活用いただけます。

衝突軽減システムK-EYE PROを安全にご使用いただくために

- 本システムは、あらゆる条件で衝突を回避する装置ではありません。性能には限界があります。システムに頼った使い方や、間違った使い方を行った場合には、事故が発生する可能性があります。
- 本システムをお使いになる前には、必ず取扱説明書をお読みいただき、システムについて理解した上で、正しいご使用をお願いします。

【検知エリアに関して】以下の条件では、システムが正しく作動しない、または対象物があっても検知できない場合があります。●機械前方、後方、アタッチメント周辺等で検知外にある対象物。(検知エリア外) ●空中にある対象物。(軒、足場などの突起物) ●寝そべっている人、座っている人、しゃがんでいる人。●センサの認識限界より小さい対象物。(木の枝、格子状のフェンス等) ●機体と極端に距離が近い対象物。【一定以上の速度で旋回の場合】旋回速度が一定以上の場合や、アタッチメントの姿勢、仕様によっては、性能を十分に発揮できない可能性があります。【その他、下記条件にはご注意ください。】下記条件に該当する場合、機能が正しく作動しない、または性能を十分に発揮できない可能性があります。(詳しくは取扱説明書をご覧ください。)

●検知する対象物の状況：急に飛び出てくる、暗い色をしているなど。●センサの状況：レンズ面に付着物があるなど。●作業環境・内容：悪天候、異常な気温、クレーン作業を行っているときなど。【衝突と関係なく機能が作動する場合】下記条件に該当する場合は、衝突と関係なく作動する可能性があります。●水蒸気、煙などが機械の周囲を漂っているとき。●悪天候(雨・雪・霧・砂埃など)のとき。●強い電波やノイズが発生する場所で稼働しているとき。●走行やアタッチメントの作動にて発生した、土跳ねや砂塵を検知したとき。●急な登坂時の地面を検知したとき。●ビニールなど、風などで飛んできた物体を検知したとき。【システムが自動的に解除される場合】以下の条件では、システムが自動的に解除される場合があります。システムが解除されると、クラスタゲージ上に異常を表すメッセージが表示されます。●センサが取り外された、またはセンサの取付位置がずれたとき。●センサレンズ面が一定以上の範囲で汚れたとき。●センサレンズ面に水滴、雪、霜などが付着したとき。●使用環境温度が異常に高いとき。●システムに何らかの異常が発生したとき。【センサのメンテナンスについて、誤作動を防ぐために下記事項をお守りください。】●センサの位置を変更したり、取り外しはしないでください。取り外した場合は、調整が必要となります。●センサレンズ面は常にきれいにし、汚れ、土、水滴、雪などが付着した場合は、取り除いてください。●センサレンズ面をお手入れする際は、水洗いしてください。拭き取りにはやわらかい布を使い、傷がつかないようにしてください。洗剤や研磨剤、コーティング剤は使用しないでください。●センサレンズ面に、フィルム等を貼りつけないでください。

アクティオで、i-Constructionの導入へ。

i-Constructionは、より革命的な建設生産システムを構築するため、測量・設計から施工、管理にいたる全プロセスにおいてICT(情報通信技術)を取り入れる取り組みです。アクティオは、衝突軽減システム搭載バックホウをはじめとする各種機器で積極的にi-Constructionの導入を進めています。

i-Constructionによって

- 生産性の向上 短期間で正確な施工を実現。
- 安全性の確保 労災の発生を抑制。
- コストの削減 作業工程を短縮し、人件費を削減。

AKT/O

アクティオは万全のサポート体制とトレーニング体制をご用意しています。i-Construction導入のための情報化セミナーを開催しております。

株式会社 アクティオ

【本社】
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルディング 7F

【道路機械事業部】
〒136-0075 東京都江東区新砂3-6-41 東京DLセンターオフィス棟 3F
Tel: 03-6666-2262 Fax: 03-6666-1997

URL <http://www.aktio.co.jp>